



ISHINOMAKI
CITY MUSEUM

石巻市博物館
第12回特別展

アルフォンス・ ミュシャ展

2025
7.26~8.31
sat sun

月曜日休館（月曜日が祝祭日の場合、翌火曜日が休館）休館日：7月28日（月）、8月4日（月）、8月12日（火）、8月18日（月）、8月25日（月）

開催場所：石巻市博物館 企画展示室 マルホンまきあーとテラス内
観覧料金：一般 1,000円 高校生 300円 小・中学生 200円
20名以上の団体は2割引き

全作品
写真撮影
OK!

SNS投稿も
OK!

《ジスモンダ アメリカンツアー》1895年 OZAWAコレクション

アール・ヌーヴォーの華 曲線の魔術師 ミュシャ。

— この夏、400点余の作品を、石巻で公開！ —

特別展では、1,300点以上のミュシャ作品を所有する尾形寿行氏のコレクションから約400点を厳選し、ミュシャの生涯とその仕事を紹介します。ポスター、装飾パネル、デザイン集、ポストカード、切手、紙幣、商品パッケージなど、多様なデザインを手がけたミュシャの作品の魅力をご堪能ください。



《遠国の姫君サラ・ベルナール》1903年
OGATAコレクション

アルフォンス・ミュシャとは

アルフォンス・ミュシャ（1860-1939）は、19世紀末から20世紀初めにフランスを中心に欧州で流行した芸術様式「アール・ヌーヴォー」を代表する、チェコスロバキア出身の画家です。

ミュシャは、1888年にパリへ移住し、パリの舞台女優サラ・ベルナールの演劇「ジスモンダ」の宣伝ポスターを制作したことで、一躍有名になりました。パリ時代には、ビスケット、香水、酒、煙草などの嗜好品をはじめ、幅広いジャンルの広告ポスターの仕事を手掛けました。装飾パネルやカレンダー、ポストカード、切手などもデザインし、人気の高まりとともに、人々の暮らしの中にも彼の作品が現れるようになりました。しなやかな曲線と美しい色彩で女性を描き出す、その洗練されたデザインは、いまなお多くの人々を魅了します。



《岸辺のエリカ》1901年
OGATAコレクション



《夢想 シャンブノア》
1897年
OGATAコレクション



《貴道十二宮 ラ・ブリュム誌のカレンダー》1896年 OZAWAコレクション

展示の構成

ミュシャの名を一躍有名にした、パリ時代の商業ポスターからはじまり（第1章）、自由な創作活動を展開した装飾パネルの仕事（第2章）、パリの美術学校講師として刊行した、学生の教本・装飾資料集や書籍の挿絵（第3・4章）、カレンダーや商品パッケージ等の仕事へと展開し、彼の作品は人々の日常生活へと溶け込んでいきました（第5章）。

ミュシャ芸術の転換期といわれるアメリカ時代（第6章）、そしてパリでの栄光を捨て、祖国チェコへ戻り制作したポストカードや1918年に独立宣言した新生チェコスロヴァキア共和国の新政府から依頼された仕事（第7章）なども取り上げます。



左から《春》《夏》《秋》《冬》1896年 OGATAコレクション

イベント
1

オープニング・トーク

講師：ミュシャ・コレクター
尾形 寿行氏

日時：7月26日（土）9：30～10：30
会場：企画展示室（観覧券を購入の上、ご参集ください。）

イベント
2

ギャラリー・トーク

講師：ミュシャ・コレクター
尾形 寿行氏

日程：8月9日（土）13：30～14：30
8月10日（日）11：00～12：00
会場：企画展示室
備考：定員50人（先着順。当日9：00より整理券を配布します。観覧券購入時にその旨をお伝えください。イベント前後は入場規制を行いますのでご了承下さい。）

問合せ

〒986-0032 宮城県石巻市開成1-8（マルホンまきあーとテラス内）
石巻市博物館学芸係 ☎ 0225-98-4831 <http://www.city.ishinomaki.lg.jp>



アクセス方法 ■ 公共交通をご利用の場合

- ☐ 仙台駅 → 石巻駅 電車 JR仙石東北ライン 仙台駅1～6番ホームから乗車で約60分
JR仙石線 仙台駅9～10番ホームから乗車で約85分
- ☐ 石巻駅 → マルホンまきあーとテラス
タクシー 石巻駅前タクシー乗り場から乗車で約10分
路線バス 石巻駅前1番乗り場から石巻専修大学線に乗車で13分
総合運動公園（石巻）下車 徒歩約2分
三陸自動車道 石巻女川 IC より約5分 駐車場無料（347台）

■ お車で越しの場合

